



糖尿病のお薬について



糖尿病は、ホルモンのひとつであるインスリンが関係する病気で、血液中に含まれるブドウ糖の値（血糖値）が高くなったり、たんぱく質や脂肪などの栄養素がうまく利用できなくなります。検査によって糖尿病もしくはその疑いと診断された方は、早めの対策が重要です。

糖尿病の治療

糖尿病の治療には、生活習慣の改善がもっとも重要です。医師、薬剤師、栄養士などの指示を守り、血糖値のコントロールを心がけましょう。

- ① **食事療法**…適切な食事量を守ることによって吸収するブドウ糖の量を減らします。
- ② **運動療法**…運動することで筋肉などの細胞が血液中のブドウ糖を消費します。
- ③ **薬物療法**…食事療法や運動療法で血糖値を十分にコントロールできない場合には、内服薬やインスリンの注射などの薬を使って血糖値を下げます。

当センターで処方される糖尿病の薬

ベイスン錠 など

ブドウ糖の吸収を遅らせる薬です。

服用開始後も食事療法は守ること。

食事のバランスが悪いと服用の意味が無くなったり、血糖値が急降下したりします。

食事の直前に飲まなければ十分な効果が期待できません。

グリミクロン錠、オイグルコン錠、ジメリン錠 など

インスリンの分泌を促進し、血糖値を低下させます。

薬を飲み忘れたときには

飲み忘れたときなど、**2回分を1度に飲んではいけません。**

ベイスン錠など…食事の最中又は食直後なら服用します。それ以降なら1回服用を抜きます。

その他の薬…食後1時間以内なら服用します。それ以降は1回服用を抜きます。



糖尿病の合併症

糖尿病には三大合併症と呼ばれるものがあり、糖尿病を放置しておくこと恐ろしい病気を併発する危険があります。合併症は、自覚症状がなくても進行するので要注意です。

1. **網膜症**…目が見えにくくなったり、失明することもあります。
2. **腎症**…腎臓のはたらきが悪くなり、腎不全が進行すると透析が必要になります。
3. **神経障害**…手足の先がしびれたり、痛みなどの感覚がなくなります。

このほかにも脳梗塞や心筋梗塞、動脈硬化を誘発したり、下肢の壊死を起こすことがあります。

低血糖について

糖尿病の治療中に血糖値が下がりすぎると、空腹感やめまい、ふらつき、脱力感を起こし、ひどくなると意識が無くなる場合があります。このような場合には、すぐに砂糖などの糖分を含むアメやジュースを摂ってください。また、**ベイスン錠**などを飲まれている方はブドウ糖でなければ低血糖がすぐに改善しませんので、薬と一緒にお渡ししているブドウ糖を常に持ち歩いてください。